



山の景色が、幸せを
導いてくれました。

移住して10年

石井 洋一さん・陽子さん
【家族構成】ご夫妻・お子様2人
【移住前のご住所】福岡県田川郡香春町



「もともと一人で旅に出るのが好きで、独身の頃はよく国内の島々を渡り歩いていました。屋久島に行った時、宮之浦岳という九州で一番高い山があった。初めて登山靴を買ってそこへ登りました。その時、山の魅力に取り憑かれました。」いろいろな山に登るようになり、山が大好きになったと話す石井陽子さん。当時、福岡で歯科医院の勤務医をしていたご主人、洋一さんには、付き合いた始めて最初の誕生日に登山靴をプレゼント。一緒に登山を楽しむようになった。

のページをめくりながら、懐かしそうに当手を振り返る。

山に囲まれていて
ここがいと即決

洋一さんが歯科医院を開業するために物件を探していた時、たまたま知り合いの歯科業者に山都町の物件を紹介された。見に行くと、周囲が山に囲まれている。「二人とも『ここがいい!』と即決でした(笑)」

子どもを自然の中で育てたいという思いはずっと持っていた。また洋一さんには、都会の競争社会の中で開業するよりも、患者さんの顔をみながらゆっくり地域医療に取り組みたいという思いもあった。

子どもとの時間に
幸せを感じる

「家の周りを散歩していると、タマムシとかナナフシ、ミヤマクワガタなんかも、たくさんいたりして。子どもと一緒に山に親しむ感じで、日々の暮らしを楽しんでいます。不便利じゃないです。」



「せいわ歯科クリニック」院長のご主人。休日は、登山やマラソン、釣りなど、山都の暮らしを満喫している。

か?と言われることもありませんが、便利すぎてモノにあふれた都会が嫌でこっちに来たので、不便さは嫌だとは思いません。野菜や猪肉などのおす分けをよくいただくので、食材には困りませんし(笑)」

四季を感じる
豊かな生活

冬は雪が数十センチ積もることもありますが、子ども達はソリ遊びが楽しくてしかたない。夏は、エアコンなしでも涼しく過ごせる。

「震災があり、価値観が変わって来たと思います。必要なものだけあればいいと思うようになりました。経済的に



クワガタやタマムシ、ナナフシなど希少な昆虫を日常で見かけることができるのも魅力のひとつ。写真は、石井さん宅内に飛び込んで来た、深山(みやま)クワガタ。

ということではなく、心が豊かになる生活をしていると思います。四季を感じられるというのもそうです。都会には土がありません。子どもには土を触りながら育ってほしい。そういう価値観を持った人が山都町に来ると、幸せがたくさん見つけられると思います。」阿蘇山が望める大きな窓から、ふわりと心地よい風が吹き込んだ。

自然がいっぱいの緑の窓から、ふわりと心地よい風が。薪ストーブやハンモックは、山都の暮らしによく似合う。薪は近所の方から頂くことが多い。家の中を自由にのびのびと歩き回る愛猫のミミちゃん。(→)

